

肝癌幹細胞研究グループ

- 肝癌幹細胞研究グループでは、肝癌の源である癌幹細胞を研究し、癌幹細胞マーカーにより分類した肝癌の特徴を研究し、タイプ毎の新薬の開発をめざしています。また、肝癌（消化器癌）の新しいバイオマーカー開発を行っています。
- これまでに、肝癌を癌幹細胞マーカーであるEpCAMとCD90の発現で分類してその特徴を明らかにしてきました。近年では、CD90陽性肝癌に高発現するラミニン γ 2単鎖（LG2m）が肝癌の診断や予後予測、発癌予測のバイオマーカーとして有用であることを報告しました。
- 現在は、肝癌の腫瘍微小環境解析や免疫抑制環境のメカニズム解析、癌免疫療法の効果予測バイオマーカーの開発を重点的に行っています。
- 2025年には肝癌幹細胞の上皮間葉転換に関する論文がCell Death & Disease誌に掲載されました。

癌幹細胞マーカーによる肝癌分類

	CD90陽性	EpCAM陽性
分子分類	Hoshida S1 Boyault G3	Hoshida S2 Boyault G1-2
生物学的特徴	遊走 遠隔転移	腫瘍増殖 浸潤
腫瘍マーカー	LG2m	AFP PIVKA-II



治療開発

腫瘍微小環境解析

バイオマーカー開発